

野外観察コーナー

1 階と 2 階の南側の壁には、森が見渡せる大きな窓が配置されている。座席と双眼鏡があり、自然館のすぐそばにある池（水たまり）に水を飲みにやって来る鳥、カエル、そして非常にまれだがリスなどを見ることが出来る素晴らしい場所だ。

一番良く見られるのは鳥たちだ。常にアトリやヤマガラスの群れが小川で水浴びをしたり木の枝にとまったりしている。窓のそばの案内表示は毎月変わり、その時期に最も多く現れる種類の鳥を紹介している。野生動物たちが少なくなる冬には、時折たぬきやテンの足跡を観察することができる。

観察コーナーの横には三瓶山の自然界に住む生き物たちの植物園と水族館がある。ここで来館者たちは自然館の展示で紹介されている魚、爬虫類、両生類の多くをまず目にすることができる。お迎えする生き物たちは、新しい生物が持ち込まれれば入れ替わるが、イシガメ、ニホンヒキガエル、ニホントカゲ、モリアオガエルなどが交代で飼育されている。水族館ではドジョウ、ミナミメダカなどの地元の魚を飼育している。触れるとやけどのようにひりひりとする神経毒を皮膚に持つ赤と黒の模様のアカハライモリの水槽もある。